

授業改善書

科目名	生産管理論
担当者	菰田文男

授業の概要

本講義の基本的コンセプトは企業の競争戦略としての低価格戦略と高付加価値戦略のメリットとデメリットを解説したうえで、今日、矛盾するこの両者を同時に達成することが企業に求められていることを説明することであり、この矛盾を解決するために、人工知能が導入されつつある現状を論じることである。

そのために、まず低価格戦略を可能とする生産現場のジャストインタイム、5Sなど、コスト削減の可能性、および高付加価値あるいは差別化のためには新製品開発のための投資が必要になることについて解説した。

次に、現在の人工知能が人間の脳を模した深層学習によりめざましい進歩を示している現状について解説し、さらにそれと関連した5Gなど、将来の経済システムを大きく変えるであろう技術について解説した。そして深層学習が自動運転、銀行や小売業界のビジネスモデルの全面的な転換に導く可能性について論じた。

さらにそれと関連して人工知能が奪うであろう仕事などについても言及した。

授業の問題点

本講義では学生の理解が容易になるように、必ずパワーポイントを利用した。スライドも可能な限り一目でその意味が理解できるように、エッセンスを画像化して示すように努めた。さらに毎回、講義の内容を自宅で復習できるように紙媒体の資料を配付した。また、企業、新聞社等がアップロードしている動画は大変分かりやすく、資料的価値が大きいので、例年のように重視しているが、有線で接続するなどの煩雑性があり、十分に活用できない点もあったので、無線LAN接続なども検討したい。さらに、パワーポイントについてはプロジェクターが古いこともあり、解像度が悪いため、学生にとって見づらいことがあったようである。また、配付資料については、分かりやすく表現するために、図、写真などを利用したが、そうすると含めるべき情報量が制限されてしまうという問題もあり、バランスの取り方に工夫が必要である。

学生の授業満足度

学生に対する授業評価アンケートについては、概ね例年のおりであった。総体的に高く評価した回答および低く評価した回答と、勉強意欲の強さとの間には、かなり強い相関関係がみられると予想されるが、勉強意欲の強い学生と強くない学生の両者にとって同時に満足度を高めるように講義内容を設定することは、容易ではないことをあらためて痛感する。どうしても勉強意欲の強い学生にあった講義内容になることは避けられないが、意欲に欠けている学生に対しても有益な講義内容とすることに努める必要がある。また、本アンケートとは別に、学期末テストでのフリー記述の中に、授業中に小テストなどの実施などにより、講義内容が定着できるようにして欲しいとの指摘があった。小テストの意義は十分に認識しているが、それは講義時間を圧縮してしまい、講義の密度を薄めるので、難しいと思われる。

授業改善の課題と方策

パワーポイントの利用、配付資料、動画像の利用などは、初期の目的をある程度は達成できているようであるので、これをさらに改善し利用を続け、学生の企業経営への関心をさらに強く持ってもらうことを目指す。

その他

なし